

商業施設新聞

帖 取材手

横浜へ行く
いつも立ち
寄るホテルの
ロビーがあ
る。産業展示
施設のパンフ
ィコ横浜にあ

る扇型デザインのホテルで、楽器の姿は見えないのだが、いつもピアノ演奏が聞こえ心地よい▼先日、全方位音響装置（直径21cm×長さ40cmの円柱形）を取材する機会があった。本物の楽器を使って生演奏しているかのような鮮やかな音を奏でる装置で、音響装置と異なり楽器に近い。音が360度の全方向に響き渡り、空間を快適にすることから、聞いた人は皆「なんでも鳴るの」と驚く。演奏家のいない演奏会も開かれ、愛好家が増え、波動スピーカーと呼ぶ人もいる▼横浜のホテルでは、もしや、と思って周りを見渡すと、やはり置いてあった。円柱形の木造りの置き物のような装置だ。「もう私の目はごまかせないよ」という気持ちになり、ロビーの鮮やかな音色の正体をつきとめてすっきりした気分になった▼この音響装置は、豪華ホテル以外に多くの百貨店にも置かれている。先ごろ日本橋三越本店内で開業した「はじまりのカフェ」にも設置された。音色の作用で環境や空間を調整する。これまで空間デザインは、色彩や光など視覚に対して表現してきたが、同機は聴覚に訴える。今度はどこで遭遇するか楽しみな一品である。楽器の姿が見えないのに、鮮やかな生演奏が聞こえれば、周囲を見回されたい。円柱形の装置があれば、それは旬エムズシネマの全方位音響装置である。アナログ技術なので真似できない。